

第23回 まちづくり委員会 事項書

平成28年12月21日(水) 午後7時～
小山田地区市民センター会議室

【時間配分の目安】

[5分]

1. 会長あいさつ

マツダ
マツダ

2. 前回のふりかえりと今日の進め方について

[5分]

3. グループ討議 —— 取組方向の検討(前回の続き)

1) 1項目めを検討します。

[25分]

○「現状と課題」をざっと読んで、確認します。

○これまでの討議内容を材料に、具体的な「取組内容」を検討します。

○「現状と課題」についても、修正すべき点があれば書き出します。

2) 2項目めを検討します。

[25分]

3) 3項目めを検討します。

[25分]

4) その他、付け加えるべき項目があれば検討します。

4. その他(次回の日程、連絡事項など)

[5分]

【今後の予定】 次回の役員会 平成29年 1月16日(月) 午前9時30分～
次回のまちづくり委員会 平成29年 1月25日(水) 午後7時～

まちづくり委員会での当面の討議事項（修正案）

	安心・安全 グループ	交通手段、便利、快適 グループ	農業、活気 グループ
第23回委員会	高齢者が憩い、助け合える まちづくり	地区内外が移動しやすい まちづくり	自然と美しい景観を守る まちづくり
第24回委員会	子どもが見守られ、 安心して子育てできる まちづくり	若者などが気軽に住める （戻ってこられる） まちづくり	地区全体で取り組む 農業のまちづくり
第25回委員会	災害に強く、犯罪や事故に 遭わないまちづくり	地区内に拠点ができ、 集えるまちづくり	地区内外の人が新鮮な 農産物を手に入れられる まちづくり
第26回委員会	住民どうしが仲良く 交流するまちづくり	小山田地区の良いところを 知り、発信するまちづくり	地域の文化、伝統行事や 農業が引き継がれる まちづくり
第27回委員会	（予備日） 十分討議できなかった項目に ついて再討議	（予備日） 十分討議できなかった項目に ついて再討議	（予備日） 十分討議できなかった項目に ついて再討議
第28回委員会	全体討議 （発表、情報共有、 相互に意見出し）		
第29回委員会	全体討議での意見を踏まえ、 必要なところを再討議	全体討議での意見を踏まえ、 必要なところを再討議	全体討議での意見を踏まえ、 必要なところを再討議

取組方向についての討議手順について（修正版）

1) まず、「現状と課題」をお読みください。（2～3分程度）

「現状と課題」を読み、その項目で何が課題なのかを確認してください。

2) 次に、「取組内容」を作成してください。（10～15分程度）

「取組内容」については、下のような表形式で表します。3つの枠を用意していますが、2つ以下でも構いませんし、4つ以上になっても構いません。枠の下に『これまでの委員会での討議結果』を参考に挙げてありますので、それを材料に具体的に書き込んでください。順番は、**[1] なにを、どのように** → **[2] だれが** → **[3] いつごろ** の順で検討していただくと進めやすいと思います。

例

《取組内容》

①高齢者の居場所づくり

だれが 2	なにを、どのように 1	いつごろ 3
A	気軽に歩いて集まれるサロン(集いの場)を、各町単位でつくります。	短期

右の中から選ぶ

- A: 地域みんなで取り組むこと
- B: 地域と企業や団体が協働して取り組むこと
- C: 地域と行政が協働して取り組むこと
- D: 行政や関係機関に働きかけること

下の中から選ぶ

- 短期: 3年以内程度
- 中期: 5年以内程度
- 長期: 10年以内程度

《これまでの委員会での討議結果から》

- 組単位ぐらいの小さな集まり場(高齢者が歩いて行ける範囲)
- 縁側会議(いどばた会議)
- ふさだまり・遊び感覚の集まる場所
- まず、気軽な立ち話!
- ◇ 空き家のサロンへの活用
- ◇ 老人会パワーの活用(町内放送が可能になるよう希望)
- ◇ あっちこちにカフェサロン等があると良いと思います。

自分のグループから出した意見は●印で表しています。(元々あったものを取り入れた場合も含まれます)

他のグループから出された意見は◇印で表しています。(初期の委員会では出されていたものも含まれます)

3) 最後に、「現状と課題」を確認してください。（5～10分程度）

内容に間違いがあったり、不十分であったりした場合は、修正や追記をお願いします。

例

《現状と課題》

- 小山田地区内の各町では、山田町の「ひだまりカフェ」、鹿間町の「元気になる会」、和無田町の「ふれあい」、西山町の「はればれクラブ」など、地域住民の集いの場がつくられています。こうした集いの場は、高齢者が気軽に集まり、交流の場となるとともに、健康づくり、生きがいづくりや閉じこもり防止などのさまざまな効果があります。小山田地区では交通の問題もあることから、できる限り、高齢者が歩いて行ける範囲に集いの場、交流の場があることが望まれます。

○○町の「××クラブ」も追記

交流の場

1. 人と人とのつながりで、だれもが安全・安心に暮らせるまち

1-(1) 高齢者が憩い、助け合えるまちづくり

① 高齢者の居場所づくり

《現状と課題》

- 小山田地区内の各町では、山田町の「ひだまりカフェ」、鹿間町の「元気になる会」、和無田町の「ふれあい」、西山町の「はればれクラブ」など、地域住民の集いの場がつくられています。こうした集いの場は、高齢者が気軽に集まり、交流の場となるとともに、健康づくり、生きがいづくりや閉じこもり防止などのさまざまな効果があります。小山田地区では交通の問題もあることから、できる限り、高齢者が歩いて行ける範囲に集いの場、サロンがあることが望まれます。

《取組内容》

だれが	なにを、どのように	いつごろ
A		

右の中から
選ぶ

- A：地域みんなで取り組むこと
- B：地域と企業や団体が協働して取り組むこと
- C：地域と行政が協働して取り組むこと
- D：行政や関係機関に働きかけること

下の中から選ぶ

- 短期：3年以内程度
- 中期：5年以内程度
- 長期：10年以内程度

《これまでの委員会での討議結果から》

- 組単位ぐらいの小さな集まり場（高齢者が歩いて行ける範囲）
- 縁側会議（いどばた会議）
- ふきだまり・・・遊び感覚の集まる場所
- まず、気軽な立ち話！
- 「小山田学校」のPRと内容充実

●（宅老所、託児所、学童を一緒にについては、）世代をこえた多様なつながりが保てる場として理想であるが、責任問題にもかかわるので、例えば、学童保育所の活動内容を発展させるなどモデルケースをつくってみてはどうか。

◇ 空き家のサロンへの活用

◇ 老人会パワーの活用（町内放送が可能になるよう希望）

◇ あっちこちにカフェサロン等があると良いと思います。だれもがいつでも参加できたら良いと思います。

②助け合い活動、困りごと支援

《現状と課題》

- 小山田地区でも、高齢者のひとり暮らしが増えてきており、日常的な見守りとともに、ごみ出しや買い物などの生活支援を必要とする人も多くなっています。また、災害などの発生時にも、避難などを手助けすることが必要になります。こうした状況に対し、隣近所や各町内での世代を越えた助け合いが求められますが、どのような体制でどのように取り組んでいくべきかを検討することが必要です。

《取組内容》

だれが	なにを、どのように	いつごろ

右の中
から選ぶ

- A：地域みんなで取り組むこと
- B：地域と企業や団体が協働して取り組むこと
- C：地域と行政が協働して取り組むこと
- D：行政や関係機関に働きかけること

下の中から選ぶ

- 短期：3年以内程度
- 中期：5年以内程度
- 長期：10年以内程度

《これまでの委員会での討議結果から》

- 例・買い物ツアー実施
- 物理的支援
- 精神的支援
- あいさつ、声かけの実践
- 災害時要支援者名簿と災害時の避難(訓練)

③医療・福祉施設との連携強化

《現状と課題》

- 小山田地区の大きな特徴として、地区内に小山田記念温泉病院といった医療機関や、社会福祉法人青山里会のさまざまな福祉施設が立地していることがあります。これらの病院・施設においては、施設の地域開放やイベントの共同実施など、地域とのさまざまな連携が図られています。今後、小山田地区もより一層の高齢化が進むことから、こうした医療・福祉機関との連携をますます強化していくことが求められます。

《取組内容》

だれが	なにを、どのように	いつごろ

右の中
から選ぶ

- A：地域みんなで取り組むこと
- B：地域と企業や団体が協働して取り組むこと
- C：地域と行政が協働して取り組むこと
- D：行政や関係機関に働きかけること

下の中から選ぶ

- 短期：3年以内程度
- 中期：5年以内程度
- 長期：10年以内程度

《これまでの委員会での討議結果から》

- 公民学連携をこの地域でもできないか。
- ◇ 地元民が小山田病院を利用
- ◇ イベント等の開催協力

(※上記以外に取組内容が必要な場合は、下記にお書きください)

《取組内容》

④

だれが	なにを、どのように	いつごろ

右の中
から選ぶ

- A：地域みんなで取り組むこと
- B：地域と企業や団体が協働して取り組むこと
- C：地域と行政が協働して取り組むこと
- D：行政や関係機関に働きかけること

下の中から選ぶ

- 短期：3年以内程度
- 中期：5年以内程度
- 長期：10年以内程度

2. 活気があり、快適に暮らせるまち

2-(1) 地区内外が移動しやすいまちづくり

① 南北方面の主要道の整備検討

《現状と課題》

- 小山田地区では、広域農道であるミルクロード、フラワーロードが地区内を貫き、地区北部を県道宮妻峡線が東西に走っています。集落間をつなぐ道路は、未改良部分も多く、狭い箇所が見られる一方、朝夕を中心に通過交通量が多く、子どもたちの通学や地域住民の生活に支障をきたしています。小山田地区は四日市市の南の玄関として、鈴鹿市や亀山市とをつなぐ位置にあり、物流や防災対策、地域の活性化としても南北方向の道路整備が求められます。

《取組内容》

だれが	なにを、どのように	いつごろ

右の中
から選ぶ

- A：地域みんなで取り組むこと
 B：地域と企業や団体が協働して取り組むこと
 C：地域と行政が協働して取り組むこと
 D：行政や関係機関に働きかけること

下の中から選ぶ

- 短期：3年以内程度
 中期：5年以内程度
 長期：10年以内程度

《これまでの委員会での討議結果から》

- 市への要望(できれば四日市ICまで)
 - 南北道路(←フラワーロード延長)
 - 四日市ICへ南北へつなげる
 - 災害道路として、四日市ICからミルクロード、フラワーロードまでつなげる
- ◇ 新名神の樺サービスエリアから美里のミルクまでつなげる

②高速バス等の新たな交通手段の検討

《現状と課題》

- 一方、広域的な観点からは、鈴鹿市、亀山市方面への連絡や高速道路のインターチェンジへのアクセスの良さを生かし、小山田地区と名古屋や京都・大阪などの大都市とを結ぶ交通手段により、地区から出かけやすく、また、小山田地区を訪れてもらいやすくすることが望まれます。

《取組内容》

だれが	なにを、どのように	いつごろ

右の中
から選ぶ

- A：地域みんなで取り組むこと
- B：地域と企業や団体が協働して取り組むこと
- C：地域と行政が協働して取り組むこと
- D：行政や関係機関に働きかけること

下の中から選ぶ

- 短期：3年以内程度
- 中期：5年以内程度
- 長期：10年以内程度

《これまでの委員会での討議結果から》

- 名古屋までの高速バスターミナルの設置
- バス停の近くに無料駐車場を作る(荒れ地の利用)
- 空き地を利用した駐車場←鈴鹿などからも来られる
- バスの停留所を探す必要がある
- 小山田病院の駐車場を利用させてもらう

◇バスの基地で関西(第二名神)へ向けたバスも検討

③その他の交通手段の活用

《現状と課題》

- 小山田地区では、山田町内を通る小山田病院を起点とするバス路線、西山町、小山町を通る宮妻口及び椿大神社を起点とするバス路線、和無田、鹿間町内を通る和無田改善センターを起点とするバス路線がありますが、いずれも本数が少なく、利用しづらいのが現状です。また、いずれも中心市街地に向かう路線のため、地区内の移動には向かないことも問題です。今後、高齢化が進む中で、マイカーを運転できない人が増えると考えられることから、バス路線やそれに代わる交通手段を確保していくことが必要です。

《取組内容》

だれが	なにを、どのように	いつごろ

右の中から選ぶ

A：地域みんなで取り組むこと
 B：地域と企業や団体が協働して取り組むこと
 C：地域と行政が協働して取り組むこと
 D：行政や関係機関に働きかけること

下の中から選ぶ

短期：3年以内程度
 中期：5年以内程度
 長期：10年以内程度

《これまでの委員会での討議結果から》

- 「白タク」も利用する
- 青山里会、椿会館、ジャブ、南自動車学校等の現行バスに便乗させてもらう
- 買い物弱者対策につなげる(便乗でも良い)
- 補助金の確保
- ◇高齢者(自力移動手段ない)——福祉タクシー(通院、買い物、レジャー)
- ◇協力者を募って運営
- ◇バス会社に要望
- ◇小山田病院を基点にバス路線の整備
- ◇近鉄四日市駅から鹿間→和無田→小山田記念病院→山田→四日市駅までのルートとその逆ルートを提案する
- ◇通勤通学のための交通手段が守られる
- ◇四日市駅(近鉄・JR)への交通手段を確保

(※上記以外に取組内容が必要な場合は、下記にお書きください)

《取組内容》

④

だれが	なにを、どのように	いつごろ

右の中か
ら選ぶ

- A：地域みんなで取り組むこと
- B：地域と企業や団体が協働して取り組むこと
- C：地域と行政が協働して取り組むこと
- D：行政や関係機関に働きかけること

下の中から選ぶ

- 短期：3年以内程度
- 中期：5年以内程度
- 長期：10年以内程度

3. 自然や農業を通じてまとまり、つながるまち

3-(1) 自然と美しい景観を守るまちづくり

① 自然資源や景観の保護、活用

《現状と課題》

- 小山田地区には自然資源が豊富にあり、季節を彩る桜、ヒメコウホネなどの花々、ウグイスやキジなどの野鳥、ホタルなどが身近に見られます。また、小山田桜や大楠など、各町にシンボリックな木々があります。丘陵地の脇から湧き出るマンボの水は夏でも冷たく、かつては生活や農業を支えていました。こうした身近にありながら美しい自然を、小山田地区になくてはならないものとして、時代を越えて未来に残していくことが大切です。

《取組内容》

だれが	なにを、どのように	いつごろ

右の中から選ぶ

- A：地域みんなで取り組むこと
- B：地域と企業や団体が協働して取り組むこと
- C：地域と行政が協働して取り組むこと
- D：行政や関係機関に働きかけること

下の中から選ぶ

- 短期：3年以内程度
- 中期：5年以内程度
- 長期：10年以内程度

《これまでの委員会での討議結果から》

- 名所マップの作成
- 里山づくり
- お気に入り風景の募集とマップづくり
- ◇ 自然を守る
- ◇ 用水路、農道、遊休地の管理、組織を広める
- ◇ 自然資源の現状を知ること
- ◇ 自然資源の周囲の清掃・整備、水の管理
- ◇ ボランティアを募集し、保存会を設置
- ◇ 看板などでのPR
- ◇ イメージキャラクターの公募
- ◇ 里山保全会の参加呼びかけ

②自然を活用したイベント等の実施

《現状と課題》

- 谷筋には田んぼが、丘陵地には茶畑が広がるとともに、丘陵地の縁には緑の木々が生い茂り、小山田地区独特の景観を創り出しています。その中で、一部の竹林については人の手が入らなくなり荒れ気味であったものを、ボランティアによる整備が行われ、活用がなされつつあります。また、休耕田にひまわりやコスモスを植えることで、美しい景観を創り出しています。森林や農地については、荒れているところも見られることから、保全しつつ、活用を図る方法を考えていくことが求められます。

《取組内容》

だれが	なにを、どのように	いつごろ

右の中
から選ぶ

- A：地域みんなで取り組むこと
- B：地域と企業や団体が協働して取り組むこと
- C：地域と行政が協働して取り組むこと
- D：行政や関係機関に働きかけること

下の中から選ぶ

- 短期：3年以内程度
- 中期：5年以内程度
- 長期：10年以内程度

《これまでの委員会での討議結果から》

- 桜や竹やぶのライトアップ、イベント開催
- ◇コスモス畑で遊べる工夫、種まきイベント
- ◇ひまわりの種の収穫・販売
- ◇学校の授業等での活用
- ◇花ひろばの検討

③ 荒れ地の整備、不法投棄対策

《現状と課題》

- ミルクロード沿いなどでは優良農地の茶畑が広がるところがある反面、荒れ地となっているところもあります。また、条件の良い農地でさえも、担い手の不足などにより耕作放棄が見られます。荒れた土地は景観上の問題もさることながら、不法投棄の温床ともなり得ることから、何らかの対策が求められます。さらに、近年では野生動物による被害が深刻化しており、これについても対策が急務となっています。

《取組内容》

だれが	なにを、どのように	いつごろ

右の中
から選ぶ

- A：地域みんなで取り組むこと
- B：地域と企業や団体が協働して取り組むこと
- C：地域と行政が協働して取り組むこと
- D：行政や関係機関に働きかけること

下の中から選ぶ

- 短期：3年以内程度
- 中期：5年以内程度
- 長期：10年以内程度

《これまでの委員会での討議結果から》

- 荒れ地(拠点近く)を駐車場などへの有効活用を図る
 - ◇(空き地活用)ドローンの練習場
 - ◇(空き地活用)サルとイノシシの動物園
- ◇(不法投棄防止)看板の設置
- ◇(不法投棄防止)パトロールの強化
- ◇(獣害対策)捕獲する——市がテストしているワナに期待
- ◇(獣害対策)イベントの際のジビエ料理によるPR

(※上記以外に取組内容が必要な場合は、下記にお書きください)

《取組内容》

④

だれが	なにを、どのように	いつごろ

右の中
から選ぶ

- A：地域みんなで取り組むこと
- B：地域と企業や団体が協働して取り組むこと
- C：地域と行政が協働して取り組むこと
- D：行政や関係機関に働きかけること

下の中から選ぶ

- 短期：3年以内程度
- 中期：5年以内程度
- 長期：10年以内程度